

## パソコン (Windows 7) の基本操作 ; 文字入力の基本と応用知識

担当 : 秋本・川端・笹原・匂坂・清水・千葉

### 本日の内容

- パソコンの基本構成
- パソコンの基本操作
  - ✓ 起動と終了 : 電源 ON / ログオン / ログオフ / 電源 OFF (シャットダウン)
  - ✓ Windows の画面構成と, ファイル保存場所の確認
- タッチタイピング練習ソフトウェア TYPEQUICK の利用
- 文字入力の基本
  - ✓ テキストエディタ (EmEditor Professional) を使った文字入力
  - ✓ 文字入力の応用知識

### 1. パソコンの基礎知識

#### 1.1 パソコンの構成要素

- ハードウェア
  - ⇒ パソコン本体 (CPU/メモリー/マザーボード/ハードディスクドライブ/DVD-ROM ドライブ)
  - ⇒ 周辺装置 (周辺機器)
- ソフトウェア
  - ⇒ OS (Windows XP, Vista, 7, 8 / Unix, Linux, FreeBSD / Macintosh, iOS / Android OS)
  - ⇒ アプリケーションソフトウェア (ワープロソフト/表計算ソフト/タイピング練習ソフト/テキストエディタ/画像編集ソフト/WWW ブラウザなど)
- ネットワーク

#### 1.2 理解しておきたい基礎用語

- 周辺装置としてのキーボード, マウス, ディスプレイ
- データ保存のための記憶装置 : 補助(2次)記憶装置  
cf. 計算処理のための記憶装置 : 主(1次)記憶装置 (メモリー)

◆キーボード : 入力装置の一つ。文字や数字を入力したり, パソコンに指示を与える装置。

- キーボードの打ち方のコツ
  - ⇒ 姿勢よく座る
  - ⇒ 両手で打つ / 手元を見ないで打つ (タッチメソッドを目指す)
  - ⇒ 指はホームポジション (ホームキー) に置く



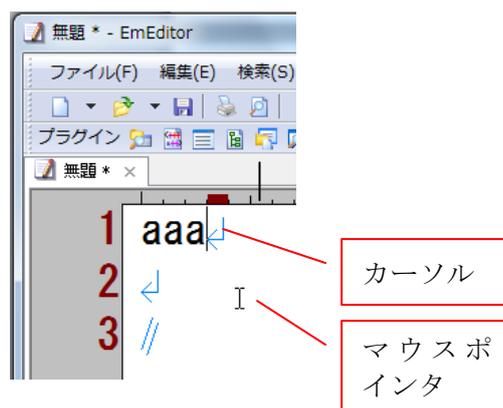
図は英語 (101) キーボード。アルファベットの位置は日本語 (106) キーボードとほぼ同じだが, 記号の配列が異なる。

- [a] . . . . . 左手小指
- [s] . . . . . 左手薬指
- [d] . . . . . 左手中指
- [f] . . . . . 左手人差指
- [j] . . . . . 右手人差指
- [k] . . . . . 右手中指
- [l] . . . . . 右手薬指
- [;] . . . . . 右手小指

- テキストの入力位置は**カーソル**「|」で示される。また、テキスト入力時にはマウスポインタの形が変化する(アルファベットに形が似ているので「アイビーム」と呼ばれる)。

◆マウス：入力装置の一つ（ポインティングデバイス）。

- 左ボタン ...クリック/ダブルクリック/ドラッグ&ドロップ
- 右ボタン ...クリックしてさまざまなメニューを表示させることができる
- スクロールホイール



※覚えておきたいキー：以下のキーの場所を確認しておこう。

Ctrl (コントロール)	Esc (エスケープ)
Alt (オルトネート/オルト)	SPACE (スペース) *刻印なし
Delete (DEL) (デリート)	Tab (タブ)
Enter (エンター)	アルファベットキー
Backspace (バックスペース)	テンキー (数字のキー)
↑↓→← (やじるし)	ファンクションキー (F1~F12)
Shift (シフト)	Caps Lock/英数
[半角/全角] (漢字)	Num Lock

◆ディスプレイ：表示装置の一つ。モニターと呼ぶこともある。

- 液晶ディスプレイ (LCD)：TFT 液晶が主流。

◆補助(2次)記憶装置

- Windows では補助記憶装置にアルファベットの「ドライブ名」がつく。
- CD-ROM/DVD-ROM ドライブは書き込みできない (ROM = Read-Only Memory)。
- 大学 PC の場合、ハードディスクドライブ (HDD) にはデータを保存することはできない。後述する「ネットワークドライブ」を使う。
- USB フラッシュメモリーにも自分のデータを保存することができる。

## 2. パソコンの基本操作

### 2.1 ログオン (電源の投入)

- 必要に応じ周辺装置の電源を入れる。  
⇒ 大学の PC の場合はディスプレイの電源は自動的に入る。
- パソコン本体の電源を入れる。基本ソフト (Windows 7 Professional) が起動する。
- **Ctrl**キーと **Alt**キーを押したまま、**Delete**キーを押し、ログオン画面を出す。  
⇒ ユーザ ID を入力する→ **Tab**キーを押す→パスワードを入力する (入力欄の移動はマウスを使ってもできる)  
⇒ 数字はできるだけアルファベットキーの上にある数字キーを使う。(テンキーの数字キーを使う場合は、「NumLock」が ON になっていることを NumLock ランプの点灯で確認すること。)

### 2.2 ログオフとシャットダウン

- PC 本体の電源ボタンで電源を落としてはいけません。正しくシャットダウンしよう。
- 念のため、全てのアプリケーション、ウィンドウを閉じる。

授業ホームページ URL: <http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/lit/> (lit は小文字, l はエル)

- USB フラッシュメモリー, DVD-ROM, CD-ROM を利用した場合には, 取り外す。
- [スタート] ボタンをクリックし, メニューから「シャットダウン」を選択する。
- ディスプレイ, PC 本体の電源が切れていることを確認する。
  - ⇒ 「シャットダウン」せずに「ログオフ」を使うこともある。ログオン画面に戻るので, 次の人がすぐに使う場合に便利。
  - ⇒ 大学 PC では「スリープ」「ロック」などはできません (席取りと同じなので)。
  - ⇒ ログオンした状態で PC の前を不用意に離れないこと。

※ 授業で中間モニターを使用した時は, 中間モニターの電源を切ることも忘れずに。

CALL 教室では中間モニターは集中管理されるため, 個別の ON/OFF は不要です。

## 2.3 Windows の画面構成

※重要な用語: デスクトップ/アイコン/スタートボタン/マウスポインタ/タスクバー

## 2.4 マウスを使った基本操作

- ファイルやフォルダを開く。
- ソフトウェア (プログラム) を起動する。
- メニューから機能を選択する。
- ウィンドウを移動させる。大きさを変える。最小化する。閉じる。

### ●実習 1: 学生 PC に接続されているドライブを確認してみよう

- デスクトップ上にある [コンピューター] アイコンをダブルクリックする。
- PC で利用可能な補助記憶装置のリストがメディアの種類ごとに分かれて表示される。なお, 以下の図には USB フラッシュメモリー のアイコンも表示されている

デスクトップなど, ファイルをパソコン本体のハードディスクに置いたままログオフやシャットダウンをすると, そのファイルは自動的に削除されてしまうので注意!

以下のポイントを確認しよう:

- 「ネットワークの場所」に保存されたデータはどの PC からでも使える。
  - ⇒ **[user-id] (X:) (「X ドライブ」)**: 個人データの保存に使えるドライブ。保存できる容量は 500MB まで。
  - ⇒ **KADAI (Y:) (「Y ドライブ」)** および **KADAIOLD (Z:) (「Z ドライブ」)**: 授業資料の入手や課題の提出などをおこなう。個人のデータ保存用ではない。

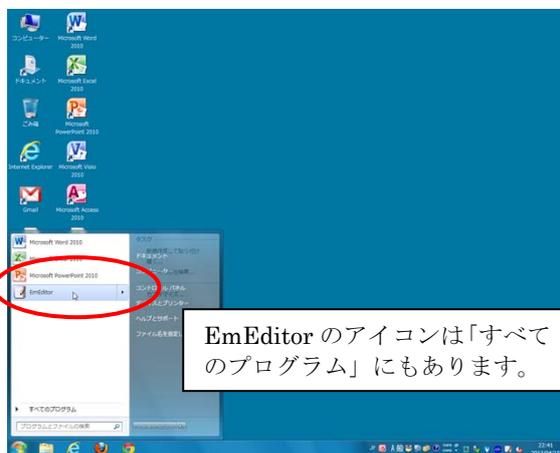
- Xドライブのほか、大学PCで自分のデータを保存するために利用できる取り外し可能なメディアとして **USB フラッシュメモリー**がある。(USB フラッシュメモリーの利用法については後日確認する。)
- Xドライブをダブルクリックして開き、内容を確認しよう。



### ●実習 2: 「EmEditor」を起動しよう

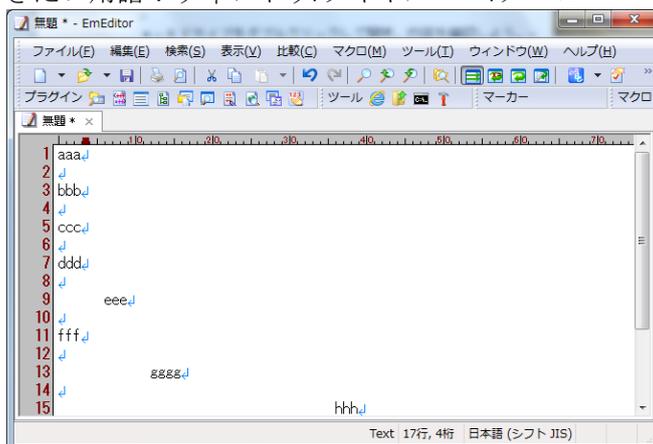
大学のパソコンには「EmEditor」というテキストエディタがインストールされている<sup>1</sup>。EmEditorを使って文字入力の練習をし、結果をXドライブに保存しよう。

- デスクトップ画面左下の [スタート] ボタン(右図)を左クリックし、スタートメニューを開く。
- EmEditor を選択し、左クリックする。エディタが起動する。



### ●実習 3: 「EmEditor」のウィンドウのサイズを変更しよう

- ウィンドウ各部の名称と役割を確認する。  
※ 覚えておきたい用語: ウィンドウ/タイトルバー/メニューバー/スクロールバー



- ウィンドウサイズの変更
  - ⇒ 折り畳み (タスクバーに表示)
  - ⇒ 最大化
  - ⇒ 閉じる
- ウィンドウの移動(タイトルバー上で左ボタンを押したままマウスを動かす←「ドラッグ」するという)
- ウィンドウのサイズを可変にする (最大表示のときの操作)
- ウィンドウのサイズを変更する
  - ⇒ マウスポインタをウィンドウの縁に移動してマウスポインタの形が右のように変わったら、マウスの左ボタンを押したまま動かす(「ドラッグ」する)。
  - ⇒ 好きなサイズになったら、ボタンを離す。
- スクロールバーを使う



<sup>1</sup> EmEditor は㈱エムソフトが開発・販売しているシェアウェア。Windows XP には簡単なテキストエディタ「メモ帳」が標準で付属している。[スタート]ボタン → [プログラム] → [アクセサリ] で「メモ帳」をクリックすると起動できる。

### 3. 文字入力の基本

#### 3.1 アルファベットや記号の入力

- 普通に入力すると小文字のアルファベットが入力される。
- 空白 (スペース) を入力するには, 手前の何も書いていないキー (スペースキー) を押す。
- 大文字は[Shift]キーを押しながら入力する。
- キーの上側に書いてある記号(!"#\$%+など)も [Shift]キーを押しながら入力。

間違えたとき:

- カーソルの前の文字を消したい・・・[Backspace]キーを押す。
- 打ち込んだ単語の途中を消したい・・・
  - a. 矢印キー   でカーソルを移動し,
  - b. [Delete]キーを押す。カーソルの直後の文字が消える。

●練習問題 1: 「EmEditor」に, 以下の文字を入力してみよう。(単語を打ち終わったら, [Enter] キーを押して改行しよう。)

*daigaku* [Enter]

*Daigaku* [Enter]

*DaiGaku* [Enter]

*DAiGaKU* [Enter]

(右に続く)

*Hikarigaoka!* [Enter]

*4+3=7?!* [Enter]

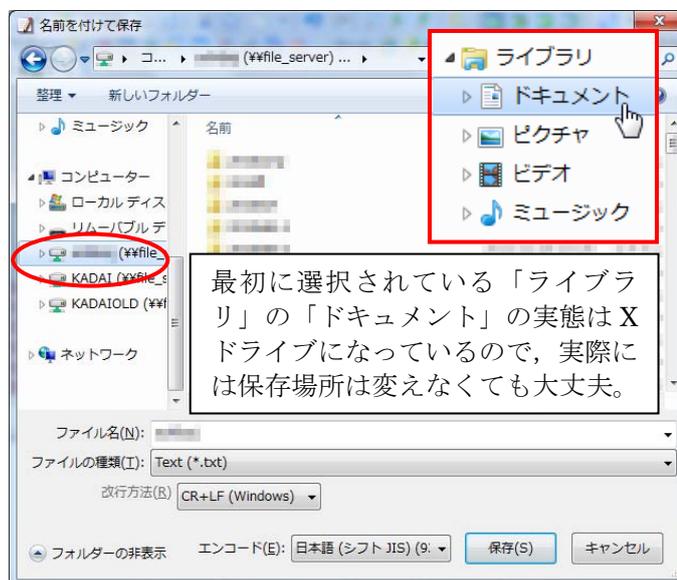
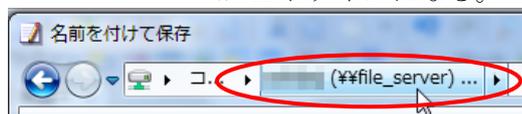
*\$40* [Enter]

*Shift-JIS* [Enter]

(自分の名前をローマ字で入力)

●実習 4: 「EmEditor」に入力したテキストをファイル名をつけて保存しよう

- メニューバーから〈ファイル(F) 名前を付けて保存(S)〉を選ぶ。
- 「名前を付けて保存」ウィンドウが出るので, まず保存する場所を選択する。ウィンドウ左側にある [コンピューター] アイコンの下にあるドライブのリストから X ドライブを選びクリックする。保存場所の表示 (下図) が X ドライブになる。



- ファイル名をつける。ここでは自分のユーザ名にする。
- 「保存」ボタンをクリックする。テキスト文書ファイルとして保存される。

●実習 5: 作成した文書ファイルを「EmEditor」で開きなそう

1. 起動している「EmEditor」をいったん閉じる (〈ファイル(F) 終了(X)〉)。
2. 「コンピューター」アイコンをダブルクリックして開き, X ドライブを開く。
3. 先ほど保存した文書ファイルのアイコンをダブルクリックする。「EmEditor」が起動し, テキストが開かれる。「EmEditor」をスタートメニューから起動し, メニューバーの〈ファイル(F) 開く(O)〉を選択してファイルの場所を指定してもよい。

### 3.2 大文字を連続して入力する

- [Shift]キーを押しながら入力・・・押している間だけ大文字になる。
  - 連続して大文字を入力したいときは？(例：GAAAAAAAAAAAAAN!)
- ⇒ [Shift] キーを押しながら[CapsLock] キーを押すと CapsLock が ON になる。



※ 日本語キーボードの場合。英語キーボードなどでは CapsLock のみで OK。

- (1) IME (後述)のツールバー右上にある **CAPS** の文字がへこむ。
- (2) キーボードの右上にある Caps Lock ランプ(真ん中にある A と書いてあるランプ)が点灯する。



⇒ もう一度 [Shift]キーを押しながら[CapsLock]キーを押して解除する。

- 練習問題 2: 「EmEditor」に以下の文字を入力しよう。

*REITAKU UNIVERSITY*  
*INFORMATION*

入力ができたら、メニューバーから〈ファイル(F) 上書き保存(S)〉を選んで保存しよう。

## 4. ひらがな・カタカナ・漢字の入力

※ 日本語の文字はたくさんあるので、キーボード上のキーだけでは足りない！そこでかな漢字変換システム(IME)<sup>2</sup>を使用する。

- ◆インプットメソッドの ON/OFF

[半角/全角] または

[Alt]+[半角/全角]<sup>3</sup>

※[Alt]キーを押しながら[半角/全角]キーを押す。

- ◆IME が OFF の時のツールバーの状態：



- ◆IME が ON の時のツールバーの状態：



### 4.1 ひらがなの入力

- ローマ字で読みを入力する：だいがく→daigaku
- ローマ字で読みをいれていくそばから「かな」に変換されていく。
- 目的の文字が正しく出てきたら[Enter]キーを押す。読みが決定(確定)される。

※ ローマ字ではなく「かな」を直接入力することもできるが、この授業ではローマ字入力を前提に説明をおこなう。

- 練習問題 3: 以下の文字を「EmEditor」に入力しなさい。

だいがく

かんたん、かんたん

れいたくだいがく

はーどでいすく

きょういく

「どうとく」・しっかり。

(右に続く)

うおーりーをさがせ。

<sup>2</sup> IME は Input Method Editor の略。この授業で解説するのは麗澤大学の学生 PC に導入されている「Microsoft IME2010」であるが、他にも「Google 日本語入力」など様々な種類のかな漢字変換システムが存在する。

<sup>3</sup> 大学の PC で用いる日本語キーボード (106 キーボード) では、[Alt] キーを押さなくても「半角/全角」キーだけで日本語入力 IME を ON/OFF できる。ただし、英語キーボード (101 キーボード) で日本語入力をおこなう場合など、[Alt] キー + 「半角/全角」キーでないと日本語入力が ON にならない場合があるので覚えておくとよい。

※迷いやすいローマ字入力 ※ 詳細は「ローマ字・かな対応表」を参照

ちょう	<i>chou</i>	どんな	<i>donnna</i>
きょう	<i>kyou</i>	こんにちは	<i>konnichiha</i>
でいすく	<i>dhisuku</i>	ん	<i>nn</i> または <i>n'</i>
さっぱり。	<i>sappari.</i>	「」	<i>[]</i>
ー (長音記号)	 キー	・ (中黒)	/
		うえるかむ	<i>we~</i> または <i>wherukamu</i>

※小さな「あいうえおやゆよ」だけを入力する(例: がああああああん)

あ…xa い… xi →頭に x をつける (la, li でもよい…資料末尾の付録を参照)

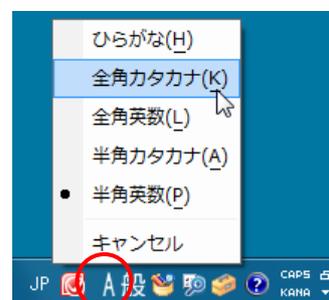
※文字をまとめて消す

- 消したい範囲をマウスで選択する(「ドラッグする」:マウスの左ボタンを押したまま、マウスを移動させる)。**[Shift]** キー + 矢印キー でも範囲を選択できる。
- [Delete]** キーを押す。

#### 4.2 カタカナの入力

方法 1 : IME のツールバーでカタカナモードに切り替える。

⇒ 「A」「あ」「カ」というところをマウスでクリックすると、**入力する文字**の種類が表示されるので、この中から選択する。



方法 2 : ひらがなモードのまま入力したあと **[F7]** キーを押す。  
(素早く入力できるこの方法をぜひ覚えよう!)

**まとめ: さまざまな全角文字種 (ひらがな・カタカナ・英数字) の入力**

方法 1: IME のツールバーをクリックして入力モードを切替える。

⇒ ひらがな, 全角カタカナ, 全角英数, 半角カタカナ, 半角英数, 直接入力 (=IME をオフ)

方法 2【覚えよう】: ファンクションキーを使って, 入力した文字を好きな文字種に変換する。

⇒ ひらがな入力モードのまま読みを入力した後, **ファンクションキー**を押して文字種を変換する。

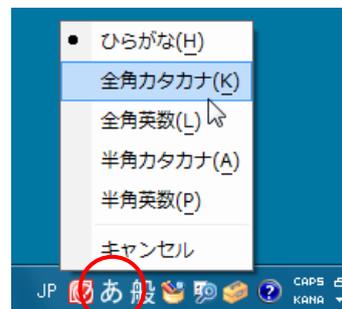
**F6** …… 全角ひらがなに変換

**F7** …… 全角カタカナに変換

**F8** …… 半角カタカナに変換 (ただし, 半角カタカナは極力使用しないこと)

**F9** …… 全角アルファベットに変換

**F10** …… 半角アルファベットに変換 \*半角文字の入力は **IME** をオフにしてから行うよう習慣づけておくこと。



Tips:ローマ字入力ができなくなってしまうとき

- キーを押してもローマ字ではなく「かな」が直接出てきてしまう。  
⇒ 「ローマ字入力」モードではなく「かな入力」モードになっている。
- かな入力モードになっているときは, かな漢字変換システム (IME) のツールバーの一番右のところにある「KANA」の文字がへこんでいる。  
⇒ このときは, **[Alt]** キーを押しながら [カタカナひらがな/ローマ字] キーを押せばよい。上に示したツールバーの「KANA」という表示がへこんだ状態がもとに戻ったら OK。



●練習問題 4: 以下の文字を「EmEditor」に入力しなさい。

ハード・ディスク	<i>Internet</i> スタンダード
テクニク	ヴァイオリン
フリーウェア (エは小さいエ)	ファイアーウォール (オは小さいオ)
シェアウェア	ハイティーン (イは小さいイ)
ウィンドウズ (ィは小さいィ)	システムABC (ABCは全角で)

#### 4.4 漢字の入力

- 読みをローマ字で入力
  - 変換キー([スペース]キー)で変換: 目的の漢字がでてくるまで何回か押す
  - [Enter]キーを押して変換内容を決定(「確定する」という)
- 例) reitaku [スペース]・ ・ 麗澤

●練習問題 5: 以下の言葉を「EmEditor」に入力しなさい。

れいたくだいがく 麗澤大学	じょうほうしり 情報処理	がいこくごがくぶ 外国語学部	けいざいがくぶ 経済学部	みなみかしわ 南 柏
じょうばんせん 常磐線	ちよだせん 千代田線	ふらんすご フランス語	きょうと 京都	どうたく 銅鐸
車で待つ。		来るまで待つ。		しゅうかつ 就活

#### 4.5 文節の切りなおし【重要】

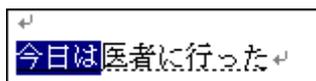
- 長い文章を入力して変換したときに、文節の区切りが違って解釈されていることがある。このようなとき、全部打ち込み直すのは大変。
- このようなときは、文節を切りなおす。

[Shift] + [→]・・・文節を長く

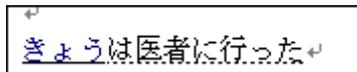
[Shift] + [←]・・・文節を短く

【例題】「今日歯医者に行った」と入れるつもりが「今日は医者に行った」になってしまった

- 1) 「きょうはいしゃにいった」と入力して変換。

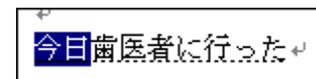


- 2) [Shift] + [←]・・・文節の区切りを「きょうは」から「きょう」に縮める。



- 3) [スペース]を押して変換する。

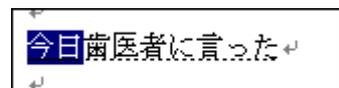
- 4) [Enter]キーを押して確定する。



類例: 「ここで履物を脱ぐ」と  
「ここでは着物を脱ぐ」;  
「手荷物」と「手に持つ」

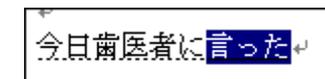
#### 4.6 変換の対象となる文節の移動

【例題】「今日歯医者に行った」と入力しようとしたら「今日歯医者に言った」になった



修正方法:

- 1) [→]キーを押して変換対象の文節を移動させる。



2) [スペース]キーを押して再変換をおこなう。



3) [Enter]キーを押して確定する。

Tips: 変換時にひらがなの入力内容の違いに気がいたら

Esc キーで変換をキャンセルし, 矢印キーを押してカーソルを移動し入力内容を修正する。

※ BackSpace で右端から文字を消して修正, といった操作は時間の無駄!

#### 4.7 数字・記号・スペース(空白)の入力

方法 1: キーボードにその記号があれば, そのキーを押す (例: \$)。

方法 2: 記号の読みを入力して変換してみる (例: わる→÷)。その他の例:

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ●○○ 「まる」    | ※ 「こめじるし」        |
| →↓↑← 「やじるし」 | ～ 「より」「から」チルダ(~) |
| 『』【】 「かっこ」  | 々リ全々ゞゞ 「おなじ」     |
| ★☆ 「ほし」     | ゞ 「しめ」           |

方法 3: きごう と読みを入力して変換する。

方法 3: IME パッドなど, ツールを利用して該当する文字を探す (★次回授業で)。

Tips: スペース(空白)の入力

文字の入力が確定していないとき(文字の下に点線が表示されているとき)に, いくら [スペース] キーを押しても, 空白は入力できない。[Enter]キーを押して文字を確定してから, [スペース]キーを押すこと。

●練習問題 6: 以下の記号を「EmEditor」に入力しなさい。

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 3Ω (お一む)              | ～ (全角の「チルダ」(~)) |
| 256÷536 (わる)          | § (せくしょん)       |
| ∞ (むげんだい)             | ●○○             |
| 麗澤大学の郵便番号は『〒277-8686』 | @ (全角の「あっと」マーク) |

入力ができたら, メニューバーから〈ファイル(F) 上書き保存(S)〉を選んで保存しよう。

#### <まとめ> データの保存:



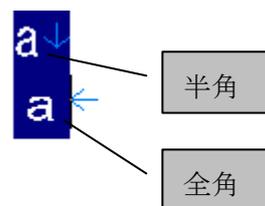
フォルダーの例

- ✓ パソコンでは, データはすべて**ファイル**という形で保存する。ファイルとしてドライブ上に保存していないデータは電源を切ると消えてしまう。
- ✓ データを更新したら, ファイルも更新する必要がある (上書き保存)。
- ✓ ファイルは**フォルダ**を作ってまとめておくことができる (後日実習)。
- ✓ ファイルの形式は, データの種類によってさまざまな種類に分かれる。

## 5. 文字入力の応用知識

### 5.1 パソコンで使う文字の種類: 「全角」文字と「半角」文字

一見すると同じ文字が異なるコードをもち、パソコン内部で異なる文字として扱われることに注意しよう。例えば、右図の2つの文字は、どちらも小文字の a だが、見かけ上の文字の長さが違っている。実は1行目の「a」は「半角文字」、2行目の「a」は「全角文字」と呼ばれる種類の文字で、2つの a はコードが全く異なる。



IME をオフにした状態（「直接入力」）では「半角文字」が入力される。一方、IME をオンにした状態（「ひらがな」など）では全角半角のどちらでも入力可能である。電子メールアドレスを入力したり、英文でメールを送る場合などは必ず半角文字を使わなければならない。IME の入力モードを適切に切り替え、混同しないようにしよう。

### 5.2 かな漢字変換システム(IME)の使い方を知る: ヘルプを起動してみよう

(1) IME ツールバーの「ヘルプ」ボタンをクリックする。



(2) メニューから「目次とキーワード」を選択する。

(3) ヘルプが表示される。ここから項目を選んだり、キーワードを入力したりして知りたいことを探すことができる。

### 5.3 読みがわからない漢字を入力する (IME の入力支援ツールの利用)

IME2010 の入力支援ツール「IME パッド」を使い、難しい漢字を入力してみよう。また、IME の文字コードによる入力機能を使ってみよう。

準備:

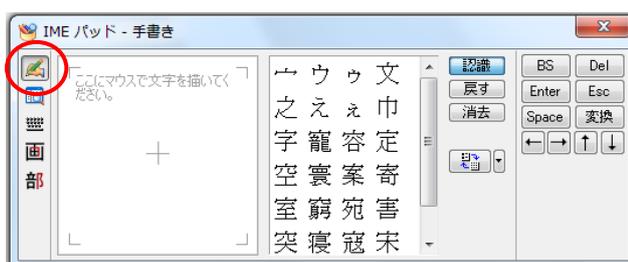


(1) IME パッドを使う前に、文字を入力するアプリケーションを起動しておく。ここでは「EmEditor」に入力しよう。

(2) デスクトップ画面右下の日本語かな漢字変換システム(IME)のツールバーの「IME パッド」ボタン (右上図) をクリックする。

#### 方法 A: 字を自分で書いて調べる

- (1) 「手書き」アプレットを起動する。
- (2) マウスで文字を書く。
- (3) 候補が右側に表示されるので、クリックして選択する。文字がメモ帳に入力される。
- (4) このままでは未確定の状態なので、「Enter」キーを押して確定する。



作業上のヒント:

- うまく文字を認識させる3つのポイント: 「2度書きをしない」「『はね』は分けて書かず続けて書く(または省略する)」「線や点が画面のどこに位置するかを意識して書く」

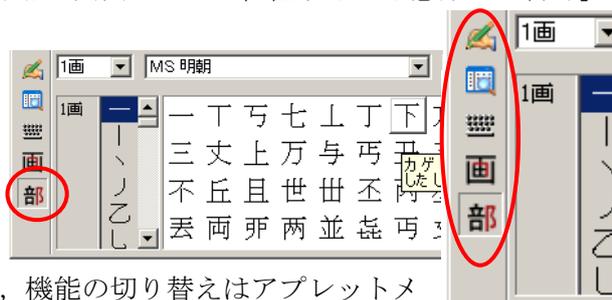
#### 方法 B: 部首や画数から調べる

- (1) 「部首」「総画数」アプレットを起動。
- (2) 漢字の検索方法は漢和辞典と同じ。

例: 「麗」・・・鹿(11画)から探す

作業上のヒント:

- 手書き・部首・総画数, 文字一覧など, 機能の切り替えはアプレットメ



ニューからおこなう (右図)。

- 「EmEditor」などで「にんべん」と入力し、「F5」キーを押すと、部首による漢字の一覧を出せる。

### 方法 C : 文字のコードで入力する

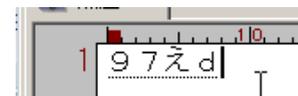
- 難しい漢字は、日本語シフト JIS や Unicode のコードを調べ、IME のコード変換機能を使って入力することができる。

- IME を On にし、漢字の文字コード (シフト JIS のコード) を入力する。アルファベットは大文字でも小文字でもよい。

例: 「麗」 97ED

かな漢字変換システムが On になっていると、右図のように「97えd」となるが気にしなくてよい。

- ファンクションキー [F5] を押す。
- コード 97ED の文字 (麗) が表示されるので(右図)、マウスで文字をクリックするか数字キー「2」を押すと文字が入力される。
- [Enter]キーを押して確定する。



※ 漢字コードがでている本の例: 芝野耕司編著 (2002)『JIS 漢字字典』増補改訂版. 日本規格協会. (最近では漢和辞典などにも漢字のコード情報が記載されている。)

※ 97ED というコードには Unicode では「非」という漢字が割り当てられている。日本語の「シフト JIS」と多言語に対応した「Unicode」とは全く異なるコード体系である。(コードの仕組みについては、「情報処理演習 E」などで詳しく扱います。)

### 5.4 知っておくと便利な全角記号の入力法

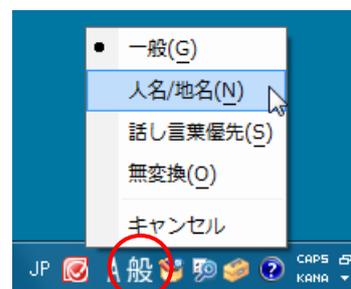
記号	IME での入力方法
々リ	おなじ/どう
ゞ	しめ
…	さんてん(三点リーダ)
ゝ	だくてん/てん
°	はんだくてん/まる

記号	IME での入力方法
／＼	しゃせん
〒	ゆうびん(ばんごう)
§	せくしょん
℃	ど
→↓←↑	やじるし

### 5.5 異なる字体の漢字や住所、口語表現を入力する (IME 辞書の利用)

IME には用途にあわせて複数の辞書が用意されており、難しい漢字や地名、入力しにくい文字を効率よく入力することができる。

- 人名・地名: 「高」橋 (「はしご高」とよばれる) など、異なる字体の漢字(異体字)を入力する。人名、地名に特有の漢字を入力する場合など。また、郵便番号から地名を入力することもできる。
- 話し言葉優先: くださった会話の表現や方言、顔文字など



### ●実習 6: 文字入力の応用練習をしよう。

- 「EmEditor」を起動し、以下の文字を入力しなさい。英数字や記号で下線の引いてある場所は全角で入力すること (F9) キーを押して全角アルファベットに一括変換するのが効率がよい)。丸カッコとその中の説明文、ふりがな (ルビ) は入力不要。

[あなたの名前]

[あなたの学籍番号] (半角で入力する)

[あなたの所属専攻名]

[あなたの電子メールアドレス]

Windows●7●Professional

Internet●Explorer

WINDOWS●7●PROFESSIONAL (全て大文字で入力する)

INTERNET●EXPLORER (全て大文字で入力する)

<http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/lit/> (コロン : スラッシュ / ドット. ハイフン- 等正確に!)

OS●=●Operating●System

キラ☆入力って楽しいなっ♪

OS : オペレーティング・システム。Microsoft●Windows などの基本ソフトウェアのこと

IME●=●Input●Method●Editor

IME : 文字の変換などをおこなう入力補助ソフトウェア

大学のプリンタで印刷できるのはA4サイズの用紙のみです。

「麗澤大学谷川<sup>へんかん</sup>生涯<sup>たにがわ</sup>学習センター」の住所 :

〒379-1619●群馬<sup>ぐんま</sup>県利根<sup>とね</sup>郡みなかみ町<sup>たにがわ</sup>谷川557 (「人名/地名」辞書を使って住所を自動入力してみよう。群馬県～谷川まで一度に変換できて便利!)

麗澤大学<sup>ちよ</sup>道徳科学教育センター著●(2009)●『大学生のための道徳教科書—君はどう生きるか?』麗澤大学出版会 (『...』は書名の記述に使われる「二重かぎカッコ」。センターの「—」(長音記号)と「道徳教科書—君は」の「—」(ダッシュ)は異なる文字である!)

(2) 入力した内容を X ドライブに保存しなさい。

1. メニューバーから「ファイル」→「名前を付けて保存」を選ぶ。
2. 「名前を付けて保存」ウィンドウが出るので、ウィンドウ左側にある「コンピューター」のアイコンの下にある X ドライブのアイコンを選んでクリックする。保存場所が X ドライブになっていることを確認する。
3. ファイル名は[user-id]2 にしなさい([user-id]のところには、自分のユーザ名を入れること)。ファイル名は、IME を Off にし、半角で直接入力する。 ファイル名を入力したら、「保存」ボタンを押しファイルを保存する。

※ 実習 6 の練習結果は後日 Moodle の授業コースに提出するのでしっかり準備しておこう。

## 本日の課題

- 本日の配布資料をよく読み、今回の授業で扱った内容をよく復習し、新しく分かったこと、重要などころなどをチェックしておくこと。分からなかったところ、再度チェックしたいところもマークしておき、わからない用語や略語の意味は自分で調べておこう。
- 入力練習課題をしっかりと行っておき、ファイルを X ドライブに保存しておこう。実習 6 の練習結果は [user-id]2 ([user-id]は自分の User-ID) というファイル名で X ドライブに保存しておくこと。(次回提出する。)
- TypeQuick の設定内容と練習目標を確認し、タイピング練習を始めること。練習はまとめておこなわず、毎日一定の進度でおこなうようにするとよい。
- 【重要】次回 USB フラッシュメモリーを 1 本持参すること。数 GB 以上のものがおすすめ(家電量販店等で数 GB の製品が 1,000 円前後で入手できる)。既に持っていれば新品でなくともよい(これから大学で頻繁に使うことになるので、空き容量が充分にあるか確認すること)。

(以上)